

ふ る さ と お も し ろ 統 計 学

小学生の肥満化傾向

菓子類の消費量と関係か

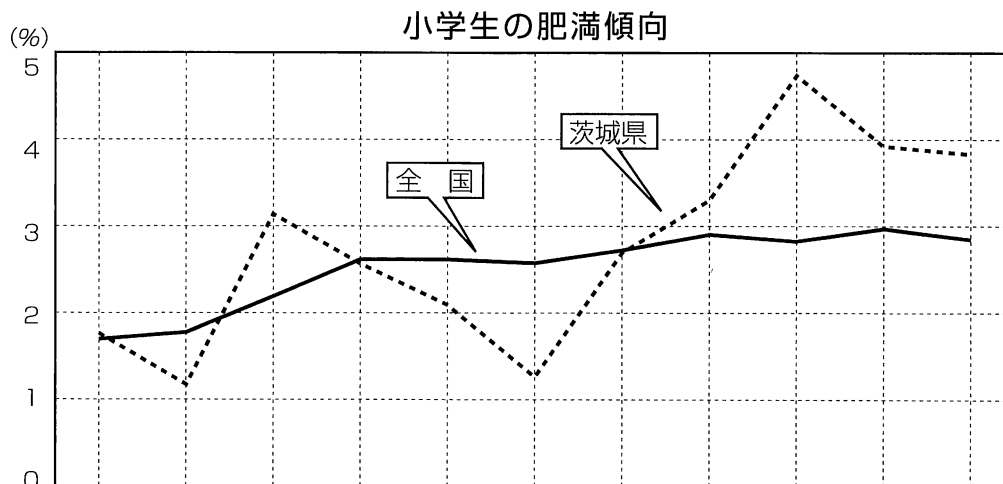
ファーストフードにコンビニエンスストア、ファミコンの登場で遊びも戸外よりも室内で遊ぶことが多くなり、過剰なカロリー摂取や運動不足などにより児童・生徒の肥満傾向が増えてきました。また、進学熱の高騰で学校が終わるとまっすぐ塾へと遊ぶ機会そのものも減っているそうです。

学校保健統計調査の結果でも、とくに本県は菓子類の消費量が全国上位にあることも関係してか、グラフに見られるように最近4年間で小学生の肥満が全国を平均約1ポイント上回っており、今まで以上に将来成人病が増加することが予想されます。このため、国は近年子供のころからの尿糖(にょうとう)検査を義務づけ、子供のころから肥満や糖尿病をはじめとした生活習慣病の予防に努めています。(政府は平成8年12月から成人病にかわって生活習慣病という概念を導入しました。)

かつては、おもてで野球にサッカー、ドッジボールなど友達何人かで遊ぶことが遊びの主体でしたが、最近は一人で部屋に閉じこもって朝から晩

までファミコンなどに興じる子供も少なくないようです。今ではみんなで遊ぶ機会もめっきり減り、子供たちは集団で何か一つのことを成し遂げることが苦手になったとよくいわれます。これらのことが、今の子供たちが大人になって社会に出たときうまく会社や組織になじめず、ストレスや何らかの病気にかかり易い環境をつくっているのではないかと懸念されます。

以前アメリカでホーソン実験という有名な大規模調査が行われましたが、この調査でフォーマルグループとインフォーマルグループの存在が指摘されました。社会や集団を維持発展させるものは飲み友達や遊び仲間に代表されるインフォーマルグループであることが明らかになったわけですが、子供の時から仲のいい友達とおしで戸外等よく遊び、バランスのよい食生活を心がけることが、肥満解消にもつながり、また近い将来大人になったとき組織人として健康で豊かな人生をおくる第一歩ではないでしょうか。(県統計課)



	昭和63年	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
全国	1.71	1.84	2.21	2.64	2.63	2.59	2.72	2.92	2.81	2.96	2.83
茨城県	1.77	1.19	3.15	2.58	2.09	1.23	2.71	3.3	4.77	3.9	3.82

「学校保健統計調査」より

## 統計事務を担当して

藤代町総務部企画課 主事 桜井 三世子

「統計担当者は、国勢調査の前の年に異動することはないから、3年間担当して異動しなかったら、5年間は確実に異動できないな。」と、国勢調査の翌年の平成8年に企画課へ異動してきた私は、以前統計を担当したことがある先輩から言われました。そんな事を言われて、早くも3年が過ぎようとしています。役場に就職して3年目に企画課へ異動してきて、「統計調査って何だろう？」という疑問が生まれました。初めて耳にする調査名と、その種類の多さに不安を抱きながら事業所・企業統計調査が始まりました。

前任者から、調査の進め方についての指導をしてもらいましたが、マニュアル通りに進まないのが現実と分かっている、拒否がなければいいなと思っていました。今では、拒否の所へ行くことにも慣れてきて、住民の方と接する度に「いろいろな人がいるんだな。」と受け入れる事が出来るようになりました。

私の中で1番印象に残っていることは、提出日が近く残業をされていて、調査項目が不完全だった事業所に対して、問い合わせをした時に「時間外まで働いて、税金を無駄に使わないで早く帰れば？」という言い方をされたことです。最初に体験した拒否の言葉だから心に残っているのかもしれませんが、この時は本当に統計担当が嫌になりました。でも中には「大変ですね。きちんと読んで記入していれば手間をかけずに済んだのに。」と、快く答えてくれる人もいて、そういう暖かい言葉や、拒否していた所が協力してくれた時の喜びが励みになり、今までやってこれたのかなと思います。

統計調査事務は、とても地味な仕事なので周りから見れば、あまり重要視されていないのが現実です。実際に役場内の人でさえも統計調査といえは「国勢調査」位しか頭がない人がたくさんいます。だから、住民の方にはもっと知られていないのではないかと思います。それだけ調査の結果が、どの部分に活用されて役立っているかが、明確に示されていないのかなと思います。大きく見れば、それぞれ個人の役に立っているのかもしれませんが、具体的に影響を受けている訳ではないので、「こんな調査をしても……。」と思う人が、増えていくような気がします。公務員というだけで、あまり良い印象を持たれない今の状況の中で、調査に協力してくれる事業所や世帯も減少していくのではないかと不安を感じています。私なりに自分の仕事に責任を持って取り組んでいかなければと改めて思うようになりました。

11年度は国勢調査の準備の年になると同時に、異動が出来なければ(?)間違いなく平成12年度の国勢調査を担当することになるでしょう。異動は出来ないだろうなあと感じている私は、最近になって「ここまでやってきたのだから、1回位は国勢調査を経験してもいいかなあ」などと、担当したことのある人にとっては信じられない様な前向きな(?)考えを持つようになり始めました。担当したことがないから思うことかもしれませんが…でも、やっぱり異動はしたいかな。

10年度もあと残り僅かとなり(異動の願いを抱きつつ)、調査員の方々の努力に応えられるように調査を重ねるごとに成長していきたいと思えます。

# 【新着資料案内】 【新着資料案内】

この資料は、平成10年12月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用ください。  
行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 029-221-8111 (内線 2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
<b>中央省庁関係</b>		<b>茨城県関係</b>	
国勢調査 H7年通勤・通学人口及び昼間人口	総務庁統計局	道路統計年報 1998	建設省
国勢調査報告 H7年第7巻第1部 北海道	〃	茨城県における公共交通の目指す方向について	関東地方交通審議会
国勢調査報告 H7年第7巻第3部 中国・四国	〃	漁業センサス結果報告書 第9次 H5.11.1調査	統計課
国勢調査 平成7年 世帯と住居	〃	市町村民所得年報 平成7年度	〃
統計局・統計センター	総務庁	地価調査書、茨城県 平成10年	水・土地計画課
都道府県統計機構等の現況 総括編	総務庁統計局	茨城消防50年の歩み	消防防災課
都道府県統計機構等の現況 都道府県編	〃	災害の記録 平成9年	〃
民間給与の実態 平成9年分	国税庁	消防防災年報 平成10年	〃
学校基本調査報告書H10年度 初等中等教育機関等	文部省大臣官房	商店街活性化ガイドブック、茨城県	商業流通課
漁業センサス 第8次 第7報	農林水産省統計情報部	茨城の観光レクリエーション現況	観光物産課
特定サービス産業実態調査報告書 物品賃貸業編	通商産業省大臣官房	職業安定業務年報 平成9年度	職業安定課
〃 情報サービス業編	〃	農業研究所研究報告 第5号	農業研究所
〃 広告業編	〃	乳牛の分娩前後の飼養法に関する研究	畜産試験場
〃 クレジットカード業編	〃	東京市場における花き流通の概要	農産流通指導センター
〃 エンジニアリング業編	〃	農地調整年報(平成9年1月～12月)	農地管理課
〃 映画館編	〃	茨城の建築・開発 平成9年度	建築指導課
〃 ゴルフ場編	〃	県議会定例会会議録 平成10年第4回	議事課
〃 ディ스플레이業編	〃		
〃 遊園地・テーマパーク編	〃		
〃 外国語会話教室編	〃		

## 編集後記

昨今の不況のせいもあってか、最近、日本の将来に対して悲観的な空気が世間に流れているように感じます。悲観論者の根底には、来るべき高齢化社会を暗く、活力のない社会であると、決め付けている向きがあるようです。しかし、今月号の巻頭に掲載されている「団塊世代のふんばり」の著者は、その高齢化社会を、活気ある円熟社会になると予想しています。楽観論に偏りすぎるのは良くありませんが、できれば21世紀がそんな明るい社会であってほしいものです。(KM)

## 統計いばらき

1999.2 No.538

平成11年2月発行

編集兼発行/茨城県企画部統計課

茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市三の丸1丁目5番38号

電話 029-221-8111(内線)2651・2652

029-221-5505(直通)

FAX 029-228-0961

印刷所/富士オフセット印刷株式会社